

本冊子は、弊社webサイト

中美チュービ

で定期更新されているコンテンツから抜粋した内容となっています。

若手教師の成長ストーリー

中学校美術

指導の悩みABC No.2

- P.1 悩める先生たちへ**
- P.2 マンガ「題材はどうやって選ぶの？」**
- P.5 ここがポイント!** ▶ カリキュラム配置の難しさ/題材を選ぶには?
- P.6 お悩みカフェテラス** ▶ 3年間を通して系統的に力を伸ばす新しい教科書どう使う? 1 ▶ 発達の段階に即した題材設定
- P.7 マンガ「導入では何を注意するの？」**
- P.10 ここがポイント!** ▶ 導入の役割/何を学ぶのか
- P.11 お悩みカフェテラス** ▶ 導入では図工・美術から離れなさい新しい教科書どう使う? 2 ▶ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
- P.12 マンガ「アイデアスケッチに描くものは？」**
- P.14 ここがポイント!** ▶ アイデアスケッチの役割/アイデアスケッチから見取ること
- P.15 お悩みカフェテラス** ▶ 生徒たちの発想は、大人が考える以上にすごい!新しい教科書どう使う? 3 ▶ 発想や構想の手立て
- P.16 新しい教科書どう使う? 4** ▶ 表紙から始まる3つのストーリー
- P.17 新しい教科書どう使う? 5** ▶ 教科書でよりリアルな鑑賞体験を
- P.18 新しい教科書どう使う? 6** ▶ QRコンテンツの充実



井澤 亮先生

ミュズ



令和3年度版教科書のご紹介
新しい教科書
どう使う?
令和3年度版 新しい教科書の効果的な
使い方も掲載しています!

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日本文教出版

詳しくはWebへ!

日文 検索



令和3年(2021年)度版 中学校美術科 内容解説資料として扱われます。

未来をにう子どもたちへ
日本文教出版

中美チュービ

中学校美術の先生応援サイト



中美(チュービ)サイトの中から2つの人気コーナーをご紹介します!

定期更新中

つながる美術

あらゆる分野で活躍する人々にインタビューし、「美術とのつながり」を探るコーナー。

vol.07 | 小川 仁志(おがわ・ひとし)さん

「考えあうことが哲学、それは美術の学び」



Profile 1970年生まれ。哲学者。専門は公共哲学。山口大学国際総合科学部教授。市役所職員から哲学者に転身したという異色の経歴を持ち、哲学カフェを主宰するなど、市民のための哲学を実践している。著書に『ジブリアニメで哲学する』『小川仁志の〈哲学思考〉実験室』など多数。また、NHK Eテレ「世界の哲学者に人生相談」に出演するなど、各種メディアで活躍。

大橋功先生★美術のチカラ

vol.10 | 中2の発達課題と美術の学び
—解放、没頭、自己実現



執筆者紹介



大橋 功 (おおはし・いさお)

岡山大学大学院教育学研究科教授(美術教育講座) 京都教育大学卒業、大阪市内の中学校教諭時代に兵庫教育大学大学院を修了、佛光大学、東京未来大学を経て2011年より現職。現中学校美術科教科書著者。

中学生が思春期と呼ばれる青年前期の発達段階に入る時期であることはよく知られています。そしてこの時期は、こうありたいと願う、あるいはこうあるべきだと思込んでいる自己像と、自覚する客観的な自己像とが一致しない「同一性拡散」の危機の時期とも言われます。そのもっとも過渡的で「難しい」時期、大人への階段の踊り場に立っているのが中学2年生です。

WEBへつづく

LINE 公式アカウント



日文 中学美術 LINE あります!

どんどん友達増加中!

登録はこちらのQRコードから! 普段お使いのLINEに「中美(チュービ)」の更新情報等をお届けします!



本冊子は、webサイト「中美チュービ」の内容から加筆・修正をしている部分がございます。

日文Webサイトでも、新版教科書に関する情報を公開中!

日本文教 2021 中美



- 内容解説資料
- 編修趣意書
- 教科書検討の観点から見た特色
- QRコンテンツ情報
- 中学生へのメッセージ動画
- 浮世絵の鑑賞方法や高精細印刷の工夫についての解説動画
- 教科書のポイント解説動画
- 日文発行機関誌
- 学習指導要領新旧対照表
- 現行(平成28年度)版教科書解説

p.11「雨」福田平八郎 東京国立近代美術館蔵 Photo:MOMAT/DNPpartcom 撮影:©半田九清堂
p.17「火焰型土器」十日町市博物館蔵 p.17「富嶽三十六景」より「神奈川沖浪裏」葛飾北斎 すみだ北斎美術館蔵

指導の悩みABC No.2

日文 教授用資料

令和2年(2020年)4月7日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33486

日本文教出版 株式会社
https://www.nichibun-g.co.jp/

- 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
- 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
- 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
- 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18・7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
- 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

題材はどうやって選ぶの？

webサイトのvol.09を掲載しています。



美術教育に「なるほど！」を

美術の授業を行う側から見つめてみましょう。美術教師は、教師としての力量が増し、生徒とのコミュニケーションが上達するに従い、優れた作品づくりへと向かわせてしまいがちです。事実、私自身がそうでした。何を学ぶための授業なのか、何のために美術教育はあるのか、肝心なところがふと抜け落ちてしまうのです。そんな時「そうか!」「なるほど!」と改めて気付くためのヒントとなる

ようなマンガになってほしいと思っています。日々、よりよい授業を模索している先生たちに、生徒たちの目が輝き、学びがより深まる視点を提供できるような資料となるよう心がけています。ですから実際の中学校の授業の中で起こり得る現場感を大切に、私自身の経験はもちろん、全国の中学校の授業や作品を見て感じたこと、先生たちにお聞きする陥りやすい勘違いや失敗例なども参考に、マンガへと反映させています。

悩める先生たちへ

答えは生徒たちの表情に



川合 克彦 (かわい・かつひこ)

東京造形大学 非常勤講師
元神奈川県公立中学校教育研究会 美術科部会 会長
現中学校美術科教科書 著作者

全国各地の教育現場を拝見すると、孤独感を抱え、情報不足などに悩む美術教師の厳しい現状に直面することが少なくありません。ミニマムな授業時間の中、生徒たちのものの見方や感じ方、考え方や他者の価値観を受け入れる柔軟性といった数値化できない資質を育てていくためにできることは何なのか…。本企画では、その指導のポイントを再確認するとともに、「答えは、目の前の

生徒たちの姿の中にあるよ」と気づきをお見せすることで、先生たちの背中をそっと押して自信へとつなげられたら幸いです。悶々とした悩みを一人で抱え込まず、みんなと一緒に考え成長していくことが大事です。マンガに出てくる井澤先生に自らを投影してみてください。あなたの隣でも“ミュズ”が語りかけてくれるかもしれません。

中美チュービ

中学校美術の先生応援サイト

指導の悩みABC

先輩からのアドバイス
指導や授業での悩みや疑問を取り上げ、
問題解決へのアドバイスを提案しています。

定期更新中

WEB掲載 LINE UP

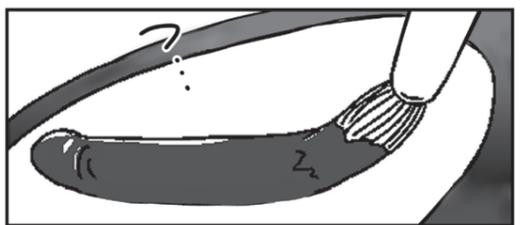
- Vol.01 図画工作から美術へ
- Vol.02 感性って何だろう
- Vol.03 授業のねらいが大切なのはなぜ?
- Vol.04 鑑賞の能力はどう身に付けさせるの?
- Vol.05 授業の前に決めておくことは?
- Vol.06 ほめるって難しい
- Vol.07 導入では何を注意するの?
- Vol.08 一人一人の生徒に対して、指導の手立てをどう考えたらいい?
- Vol.09 題材はどうやって選ぶの?
- Vol.10 アイデアスケッチに描くものは?
- Vol.11 言葉かけの役割は?
- Vol.12 「生徒はよく先生を見ている」思考力や表現力を育てるために
- Vol.13 上から目線と3つのスタンス
- Vol.14 井澤先生の夏休み～スキルアップ～
- Vol.15 待つという指導の意味
- Vol.16 描くことで生み出される心の声～夏休み明けの中3～
- Vol.17 田村君の美術館デート
- Vol.18 デザイン(視覚伝達)パッケージデザイン

※ = 冊子版「指導の悩みABC No.1」に掲載 = 本冊子に掲載



ここから全話をご覧いただけます。





お悩み
カフェテラス

例えばほかの先生はどんな授業をしているのでしょうか？

3年間を通して系統的に力を伸ばす
題材について考えるとき、通常はねらいを定めて題材を構成しますが、中には前任の先生から受け継いだ題材や学校の行事として位置づけられている題材もあります。そのような場合でも、題材として取り上げるからには「この学びを通して生徒にどんな力を身に付けさせたいか」を自分で考えることが重要です。

現在の勤務校には、全校生徒で公園に出かけて風景画を描く「写生会」という行事があります。私はこれを「美術の学びの時間」と捉え、各学年の発達の段階に応じたねらいを定めて取り組ませることにしました。視点を明確にし、観察して描くことの大切さを学び取らせたい1年生には「木」を主題として描く目標を設定しました。数年続けるうちに、生徒に投げかけるテーマを「木の生命」「木のある美しい公園」「お気に入りの木」など変えると、生徒の風景を見つめる視点が変わり表現にも大きな違いが表れました。2年生には、主題設定や遠近法、画面



盛岡市立下橋中学校
さきさとしえ
佐々木 俊江先生

構成の仕方などの技術を使って表したい思いを表現に結び付ける力を伸ばしたいと思ひ、「興行のある風景」という目標を提示しました。3年生には、「残したい盛岡の風景」として3年間の風景画の集大成として取り組ませていました。しかし、具体的な目標の高まりを提示しなければ3年生の発達の段階に応じた力を伸ばしてあげられないと反省し、「光と影の追求」をテーマとしました。すると、公園に差し込む光や木漏れ日などに注目させることで生徒の造形的な見方や考え方がさらに深まり、公園のすばらしさを感じ取った豊かな表現に結び付きました。

3年間を通して生徒が系統的に力を伸ばしていきけるようにねらいを整理し、学年に応じた意欲の引き出し方を工夫するため、目標提示の仕方や造形的な視点の持たせ方などを今後も試行錯誤しながら考えていきたいと思います。



ここがポイント！

カリキュラム配置の難しさ

美術という教科には、教科や学年としての目標があります。そのためにはどのような授業を展開しどのような資質・能力を育成すべきなのかを考えなければなりません。美術には「表現」と「鑑賞」という領域があり、「表現」は、絵や彫刻を中心とした分野と、デザインや工芸を中心とした分野に大別されます。これらを中学校3年間の学びの中で発達の段階に応じ、バランスよく年間のカリキュラムとして配置する必要があります。これはすべて現場の教師一人一人に託されます。自分は絵画が得意だからといって絵画の授業ばかりではいけないわけです。また、時間数の多い題材ばかりでは、他の領域や分野を学ぶ時間を狭めてしまいます。それに加えて目の前の生徒の学びにフィットした題材を展開していくことは、たやすいことではありません。

題材を選ぶには？

題材を選ぶ際に認識すべき点は、生徒が学び取る学力には「学ぶことによって身に付けていく力」と「学んでいこうとする力」の二つの側面があることです。一つの題材にたくさんの学ぶ要素があったとしても、生徒たちが学ぼうとする意欲を持ってない学習では、題材の有用性を発揮することはできません。教師は生徒たちの成長と発達を見極めながら、どのような題材が生徒たちの学びを高められるのかを考える必要があります。そこで各学年に対応した教科書を参考にしてみてはいかがでしょうか。各ページからインスパイアされた「ものやこと」を大切に、参考になる題材を研究することや、生徒たちのために独自の題材を開発することも大切です。

(シナリオ・監修、文 川合 克彦)

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書
どう使う？



美術1



1p.16-17

あなたなりの視点で描く
「なぜか気になる情景」

身近な風景や見慣れた場所など、心ひかれる場所やものを自分なりの視点で描く題材。新しい発見から自分らしさが形づくられる1年生ならではの題材を設定しました。

● 発達の段階に即した題材設定

令和3年度版の教科書には、1年生、2年生、3年生それぞれの発達の段階に合った題材が設定されています。一例として、「絵や彫刻など」の分野における題材の系統性についてご紹介します。



美術2・3上



2・3上 p.12-13

● 新鮮な見方で風景を描く
「視点の冒険」

見慣れた風景でも、視点を変えることで新たな発見があります。これまでの価値観が揺さぶられ、物事の本質を見いだそうとする中学2年生が、いつもとは違う見方や捉え方で表現を楽しむことができる題材を設定しました。



美術2・3下



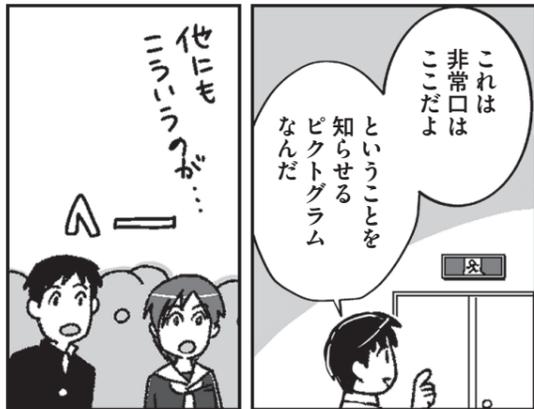
2・3下 p.20-21

● 光に気持ちを重ねて描く
「きらめき ゆらめき」

1、2年生での学びを踏まえ、生活の中の光の変化に着目し、光や影、色彩の効果に自分の思いを重ねて表現する題材。自己をしっかりと見つめ、考えを深めることができる3年生だからこそ表現できる題材を設定しました。

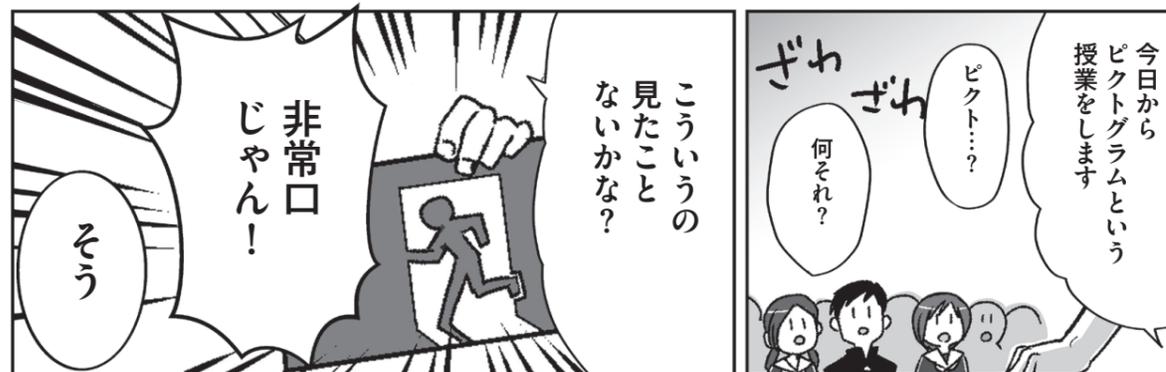


詳しくは中学校美術科特設サイトもしくは内容解説資料 P.14-17 をご覧ください。



導入では何を注意するの？

webサイトのvol.07を掲載しています。





ここがポイント！

導入の役割

学習指導要領では主体的・対話的で深い学びが大切に記載されています。生徒たちが互いに自分の意見を発言し合い、学びを深めていく主体的な学習形態は、一人では到達できない領域に到達できたり、違った視点で対象を見つめなおしたりする機会を生み出します。しかし、その過程に至るためのエネルギーが生徒たちには必要になります。このエネルギーを生み出すこそ導入時に大切な要素です。井澤先生は今回、この点はうまくこなしていましたね。この段階を内発的な動機を生む時間と捉えることができます。動機のないところに活動は生まれません。生徒たちの題材との出会いや、そこから生まれる新たなイメージが授業を突き動かすのだということを私たちは忘れてはいけません。

何を学ぶのか

生徒たちは友達との会話により、自分のイメージをよりはっきりしたものに育て上げます。しかし井澤先生の今回の授業は、「何を学ぶのか」という点が弱かったようです。導入の次のステップとも言えます。そこをうまくミュズが助言してくれました。そこで大切となる、対話的な学習の展開を可能にするためには、一人一人の柔らかなイメージの芽吹きを見守れる和やかな学習環境づくりが必要になります。そしてそのためには、日常の中での温かな教師の視点がとても大切なのです。導入こそ授業全体の中でも細心の注意を払う必要がある指導であることの証とも言えます。

(シナリオ・監修、文 川合 克彦)



アイデアスケッチに描くものは？

webサイトのvol.10を掲載しています。



お悩み カフェテラス

例えばほかの先生はどんな授業をしているのでしょうか？

導入では図工・美術から離れなさい

美術の授業の導入では、見せた途端、話した途端に生徒が「つくりたい！ やってみたい！」と思うように進めるのが肝心：という話をよく聞きます。間違いではないし、その言わずにはいられないような素材や題材との出会いは大切にしたいものです。しかし、私が若い先生たちに普段しているのは、ちょっと視点の違うアドバースです。それは「最初に題材を提示する導入時には、図工・美術から離れなさい」というものです。

生徒が「つくりたい！ やってみたい！」と思うような良い題材は、先生が考え抜いた魅力的な作品に取り組むため、中には「これは生徒の作品か？ 先生の作品なのでは？」という事態がたまに起こります。そのような場合には、図工・美術からちょっと離れて「生徒の育ちや生活」に寄り添ってみてはどうでしょうか。例えば「皆さんの校内での生活で困っていることは何ですか」と投げかければ「廊下を走る人がいる」「使ったボール

は片づけてほしい」など、一人一人が個別の、そして切実な願いを持つでしょう。これがポスターづくりやピクトグラムの主題へと展開しないでしょうか。また「来年はどんな中学3年生になってほしい？」と投げかければ、「勉強一筋」「体育祭で優勝」「告白に成功」など、遠い芸術の話ではなく、何と云っても自分のことですから、真剣で個性的なものが期待できます。これらを主題にして作品につなげることができれば、きつとも魅力的で心のこもった作品が生まれてくるのではないのでしょうか。

飛びつきたくなるような目新しい教材も魅力的ですが、こうして生まれてきた生徒個別の切実な主題を作品に昇華させるのに最適な材料なら、ありきたりなものであってもそれがベストです。生徒自身が選択したり組み合わせたりにできるように、さりげなく置いておくというはどうでしょうか。



大津市立打出中学校 かしおかはじむ 梶岡 創先生

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書 どう使う？

②

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

令和3年度版の教科書には、授業の導入やさまざまな場面で使える工夫があります。そのうちの「造形的な視点」は〔共通事項〕への気付きを促す発問形式になっており、主題を生み出し、学びを深めることができるようになっていきます。



1p.16-17「なぜか気になる情景」

対話のきっかけになる「造形的な視点」

全題材にある「造形的な視点」は、それぞれのページの一図版を指し、考えを深めたり、他の生徒と対話したりするきっかけとなるように設定されています。この質問を、生徒に投げかけてみてはいかがでしょうか。

造形的な視点
視点を考えることにより、どのように印象が変わるだろうか。

2・3上 p.12-13「視点の冒険」

造形的な視点
それぞれの染め（色）の力は、どのようなところだろうか。

2・3下 p.36-37「私の色 みんなの色」



詳しくは中学校美術科特設サイトもしくは内容解説資料 P.10-11 をご覧ください。



ここがポイント!

アイデアスケッチの役割

生徒たちが発想や構想を練るとき、頭の中にあるアイデアが、最初からはっきりとした脳内画像のようなイメージとして存在しているわけではありません。美術の授業の中で新しい題材と出会い、授業の魅力と出会います。そしてその等身大の魅力が大きく感じられたとき「やってみたい」という創造への動機が芽生えるわけです。しかし、いざ自分の手で生み出そうとしても、そうたやすいことではないと気付くはず。自らの主題を生み出すまでに一苦労、主題を形づくっていくために、また悩む。その試行錯誤の時に役立つのが、アイデアスケッチという表現（表出）活動です。

アイデアスケッチから見取ること

アイデアスケッチを授業の中で描いていると、生徒たちの間に自然と対話が生れます。頭の中にあつたものを一度描いてみることで、生徒たちは自分の作品を客観的に見つめ出します。そこに友達の意見がストレートに入ってくることで、追求めていた主題とは何か、それをどうつくるかを考えます。またアイデアスケッチのよい面と再考が必要な部分を見つめるように指導し、授業では主題を共有する時間と個人の中でアイデアを再構築し深める時間のバランスをとることも必要です。再考が重ねられたアイデアスケッチには何本もの線が描かれることでしょう。それは決して表現の出来や提出物として整理されていることを評価するものではなく、生徒たちの追究の姿であり、試行錯誤の末に勝ち取る学びの軌跡を見取るものなのかもしれません。

(シナリオ・監修、文 川合 克彦)

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書 どう使う?

4

美術 1



美術との出会い

原寸大

● 表紙から始まる3つのストーリー

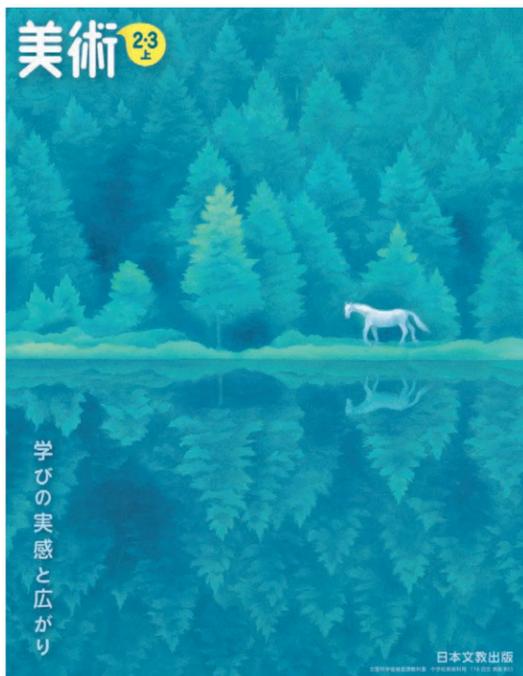
令和3年度版の教科書では、3分冊それぞれの表紙に西洋の人物画、日本の風景画、そして建築作品を掲載しています。生徒たちの成長に寄り添う3作品を選出しました。

美術 1

「真珠の耳飾りの少女」 ヨハネス・フェルメール

静かな、やわらかな光で市民の日常を照らしたフェルメール。少女のモデルは妻や娘などの親しい人、もしくは想像上の人物とも言われています。

本書の表紙は、作品の見方や感じ方を広げる鑑賞ができるように、所蔵館の高解像度データを資料し、原寸大で示しました。



学びの美感和広がり

美術 2・3上

「緑響く」 東山魁夷

自然と真摯に向き合い、季節や時間によりさまざまに変化する自然の表情を画版に写し取った東山魁夷。風景のモチーフとなったのは、長野県茅野市にある御射鹿池です。本作には次の詩が添えられています。

「弦楽器の合奏の中を ピアノの単純な旋律が通り過ぎる」

美術 2・3下

「オキュラス」 サンティアゴ・カラトラバ

アメリカ同時多発テロ(2001)によって崩壊したビルの跡地近くにつくられた建築物です。外観は飛び立つ鳥をイメージして設計され、夜には窓から内部の光がもれてランタンのように輝きます。9月11日には天窓が開き、大理石の床に一筋の光の道が現れます。



学びの探求と未来

詳しくは p.18 の QR コードより、各冊表紙の解説動画をご覧ください。

アイデアスケッチに描くものは?

お悩み カフェテラス

例えばほかの先生はどんな授業をしているのでしょうか?

生徒たちの発想は、
大人が考える以上に
すごい!

教師は、「生徒たちが発想するであろうこと」に対応できるように授業準備をします。しかし、実際生徒たちの発想全てに対応でき、授業が順調に進んでしまうと、それはある意味「失敗」なのかもしれません。なぜなら、本来生徒たちの発想は、大人のそれをはるかに凌駕するものだとは私は思うからです。「順調な授業展開」「大人の考えの範囲でしか考えられなかった授業」であると言えます。もっと生徒たちの発想力を引き出し、一緒に悩み、授業の中で最大限できることを提供してあげられるよう、教師である私が「あわただしくなるような授業になっただけ」と考えています(もちろん準備不足による「あわただしい」授業展開は反省)。

私の目標は、生徒たちが夢中になって制作し、作品を鑑賞し合ったときに「俺のもすごいけど、お前のもすごいな」と言い合える授業をつくることです。思春期の中学生は、作品の価値を「うまい・へた」で考えたり、自分の作品を裏返して隠したりする傾向があります。

そのためには、発想を含めた思考したり判断したりする力の育成はとても重要です。アイデアスケッチで試行錯誤をすることが、それを見取って評価することや、我々教師に必要なことだと思います。



さいたま市立大宮南中学校
たかふじ ゆうすけ
高藤 友輔先生

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書 どう使う?

3

● 発想や構想の手立て

令和3年度版の教科書には、授業の中で生徒の発想や構想を促す仕掛けがたくさんあります。「表現したい」という思いはあっても、考えがまとまらず難しいと感じてしまう生徒のために、教科書でできることを考えました。

道をデザインしよう

道もさまざまなデザインがされています。住んでいる地域の道を調査したり、アイデアを話し合ったりして、安全や機能の面だけでなく、夢や希望、未来につながる道のデザインを考えてみましょう。



① 身近にある道を観察する
住んでいる地域の道がどのようにデザインされているかを観察する。



② アイデアスケッチをつくる
つくりたい道を具体的にイメージしながら、アイデアスケッチを作成する。



③ 模型を制作する
アイデアスケッチをもとに、道のデザインの模型を作成する。



④ お互いに発表する
制作意図やデザインで工夫したポイントなどを発表し合う。

2・3下 p.44-45 「人が生きる社会と未来」

● 思考、判断、表現の過程を紙面に掲載

発想や構想を深めるためには、アイデアスケッチで自身の考えを整理したり、他の人たちと意見交換をしたりするなどが有効です。

新しい教科書には、思考、判断、表現の過程や、アイデアスケッチのバリエーション、アーティストの発想方法などが掲載されており、生徒たちの発想や構想を深めるのに役立ちます。



詳しくは中学校美術科特設サイトもしくは内容解説資料 P.12-13 をご覧ください。



1p.16-17 「なぜか気になる情景」

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書 どう使う?

6

● QRコンテンツの充実

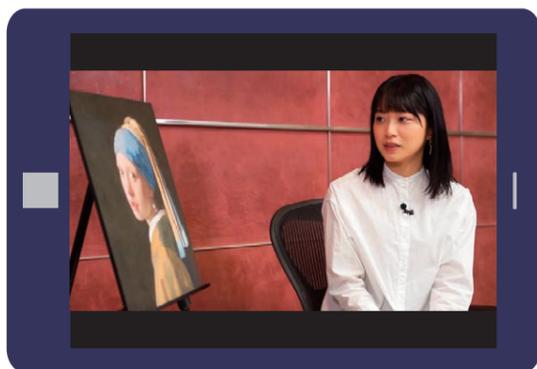
令和3年度版の教科書では、紙面に掲載されているQRコードから、学習を深めるためのコンテンツをご覧いただけます。動画や作品のスライドショーなどを収録し、紙面との併用や、家庭学習にもご使用いただけるように工夫しました。

表紙作品の関連動画で鑑賞が深まる



美術1の表紙作品「真珠の耳飾りの少女」は、オランダの所蔵館から取り寄せた高精細データを使用し、原寸大で掲載しています。

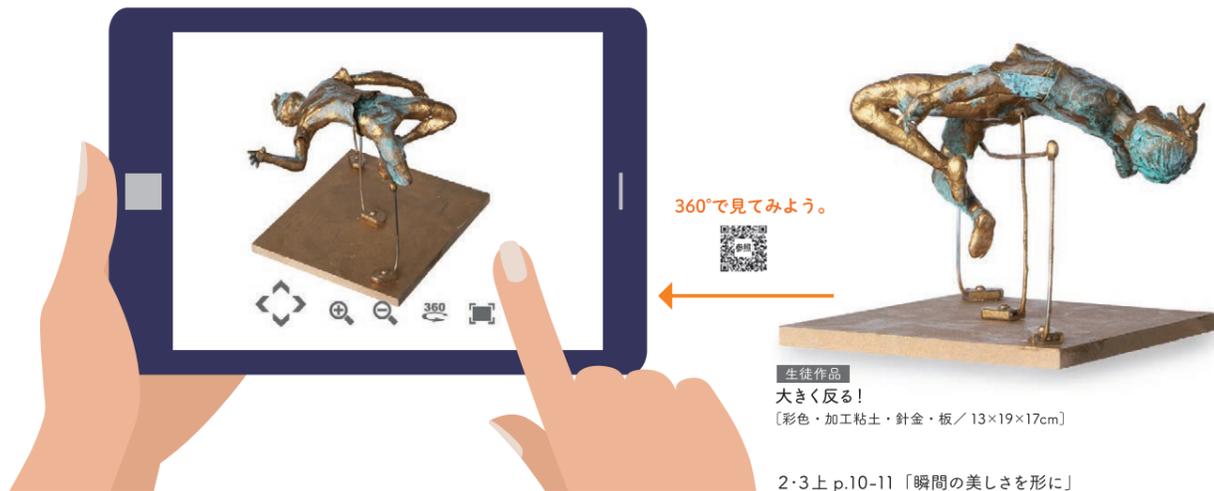
各冊の裏表紙にあるQRコードからは、表紙作品に込められた作者の思いや、描かれた背景を紹介する動画をご覧いただけます。生徒の興味を引く内容で、授業の導入にも活用できます。



美術1では、俳優の深川麻衣さんほか、画家や研究者の合わせて3名の方に「真珠の耳飾りの少女」の見方について語っていただきました。

表現の幅がさらに広がる360度鑑賞

タッチ操作で、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞し、動勢や量感、細部の工夫を捉えることができるため、表現活動にも役立ちます。



360°で見てみよう。

生徒作品
大きく反る!
[彩色・加工粘土・針金・板 / 13×19×17cm]

2・3上 p.10-11 「瞬間の美しさを形に」

各冊のコンテンツ数



美術1
30点



美術2・3上
9点



美術2・3下
8点

実際にご覧いただけます。

令和3年度版教科書のご紹介

新しい教科書 どう使う?

5

● 教科書でよりリアルな鑑賞体験を

令和3年度版の教科書では、A4ワイド版（見開き幅45.9cm）の大きな判型を生かした原寸大鑑賞図版や、色味をとことん追求した図版などを掲載しており、鑑賞授業の充実に役立ちます。

紙面サイズを生かした迫力のある「火焰型土器」



2・3下p.48-49では、火焰型土器を全面に掲載することで、教科書を開くと両手で実物の作品を持っているかのように感じられる仕掛けにしました。

ダイナミックな印象や細部の工夫を見ることができるため、生徒も自然と造形に興味を持ち、作品との対話が深まります。

作品数
7点

原寸大鑑賞図版一覧

学年	頁	作品名
1	表紙	真珠の耳飾りの少女
	29	遮光器土偶
2・3上	2-4	星月夜
		印象一日の出
	28-29	神奈川沖浪裏
2・3下	25	誕生
	48-49	火焰型土器

2種類の藍を再現。高精細印刷の「神奈川沖浪裏」



2・3上 p.28-29 「浮世絵はすごい」

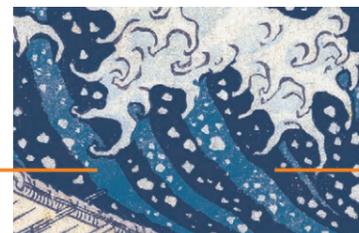
波に使用されている2種類の藍の違いや、白波の繊細な陰影など、実物に近い色味を感じることができます。ペロ藍の輸入によって表現の幅が広がった浮世絵の文化や、色の学習にもつながります。

実物と遜色のない北斎ブルーを原寸大で、ぜひ楽しんでください。

当館が所蔵している「神奈川沖浪裏」は、北斎が色味を監修した初摺の作品です。摺り始めから200枚程度を初摺と言い、本作はその前半の特にきれいに摺られたものです。

実物は1年に1度しかお見せすることができませんが、本教科書では、全く同じと言えるほどの印刷で鑑賞していただけます。

伝統的に使用されていた、植物由来の藍。



海外から輸入された顔料のペロ藍（ブルシアン・ブルー）。北斎ブルーとも呼ばれ、鮮やかな発色が特徴。



著者
はしもとみつあき
橋本光明先生
(すみだ北斎美術館館長)



「神奈川沖浪裏」についての解説をご覧いただけます。